


北東地区

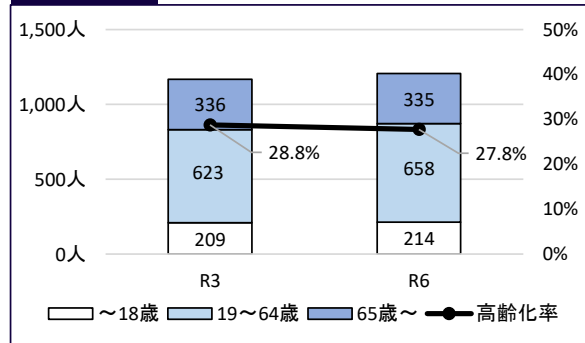
◆概要

	【位置図】	まち協名	北東地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市北町2-37	電話	0595-83-3118
		地区構成	北町 北山町 東台町 洪倉町 椿世町		
		地域特性	亀山市の北東に位置し、高台の商業地域に近い東台町、洪倉町、北町、北山町と低地の「中の山パイロット茶園」に通じる椿世町、新椿世等の自治会のエリアで構成されています。椿世町、新椿世は田畑が多く自然豊かなところですが、地区を分断して貫流する棕川があり、大雨などで氾濫の危惧され、自主防災組織に取り組むと共に、減災対策が行われています。また里山を復元した亀山里山公園「みちくさ」があり、環境学習・体験学習の場になっています。		
面積	154.8ha	ホームページ	https://hokutoumachi.wordpress.com/		
めざす姿	一人ひとりの力が輝き笑顔あふれるまち				
地域の誇り	商店や病院があり便利性が良く、穏やかで住みやすいところ				

◆人口

	令和3年	令和6年	増減	
総人口	1,168人	1,207人	39人	
人口密度	7.55人/ha	7.80人/ha	0.25人/ha	
65歳以上	人口	336人	335人	-1人
	比率	28.8%	27.8%	-1.0%
18歳以下	人口	209人	214人	5人
	比率	17.9%	17.7%	-0.2%
外国籍	人口	49人	59人	10人
	比率	4.2%	4.9%	0.7%

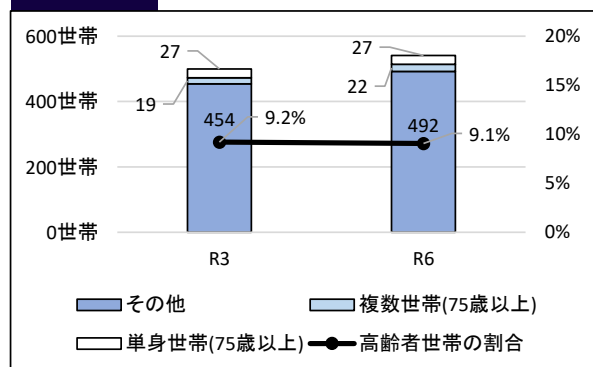
◆人口推移



◆世帯

	令和3年	令和6年	増減
総世帯	500世帯	541世帯	41世帯
単身世帯 (75歳以上)	27世帯	27世帯	0世帯
複数世帯 (75歳以上)	19世帯	22世帯	3世帯
高齢者世帯割合	9.2%	9.1%	-0.1%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	令和3年	令和6年	増減
要支援1.2	17人	24人	7人
要介護1～5	44人	39人	-5人
合計	61人	63人	2人

◆地域組織

	令和3年	令和6年	増減
自治会	8	9	1
老人クラブ	0	0	0
子ども会	4	1	-3

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	3
主任児童委員	1
福祉委員	5
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・一般診療所	4
歯科診療所	2
薬局	2
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	18

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	令和3年	令和6年	増減
ふれあいいきいきサロン	5	6	1
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	2	3	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】

三世代交流事業として、ふれあいまちつき大会を行っています。健康づくり教室やなかよしサロン(年4回)を行っています。

【訪問活動】

高齢者訪問活動を随時行っています。

【その他】

毎月介護予防教室を開催しています。



ふれあい文化祭



クリスマス会

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・健康祭り
- ・夏祭り納涼会
- ・ふれあい文化祭
- ・ふれあいまちつき大会
- ・敬老会
- ・クリスマス会
- ・自遊ひろば
- ・防災講座
- ・防犯・交通教室
- ・寄せ植え教室
- ・デイキャンプ

◆生活支援コーディネーターからのコメント

北東地区の人口は1,207人で、そのうち27.8%にあたる335人が65歳以上です。地域内541世帯のうち9.1%にあたる49世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の4.9%にあたる59人が外国籍です。

地域の特色として、高齢者が徒歩で買い物等に行くには困難な地域があるものの、地区内にスーパーや医療機関、銀行が立地していることや商業施設が充実している隣接地区へアクセスしやすいことから、近年は新たに新興住宅が徐々に建ち、人口も増加傾向にあります。

地域の活動として、令和6年度から住民が気軽に楽しみながら健康づくりに取り組めるよう亀山市のスマホアプリ「健康マイレージ」を活用し、歩行距離を計測する「東海道五十三次ウォーキング」を実施されています。また、親子対象の環境パトロール、地震体験や消火器訓練を行う防災訓練を通じて、住民の防犯・防災の意識の向上を図られています。今後も現在、取り組まれているさまざまな地域活動を継続していくとともに、住民同士の支え合い・助け合いの体制づくりが進められていくことが期待されます。